

令和5年度 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月

事業所名 こども発達支援センター たけのこ園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・活動によって部屋の広さを調整できていて良いと感じる。 ・年少さんと年中さんなど様々な子どもが多い活動の日は、独占欲が強い年長さんがいると年少さんはうまくいかないときもある。社会勉強。 ・広いと思う。 ・園庭も遊具もあり、室内も広く十分だと感じています。 	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	70%	30%			<ul style="list-style-type: none"> ・当園の子が多い日などの場合もう少し先生の数が多くの方が良いと感じる。 ・手厚く沢山の先生に見てもらえている。 ・パパやママが自分の子を見るのは分かるが、職員の人がおらず、他の子のママやパパが気にするのはどうなのかなと思う場面があった。 ・満足しています。 	併用施設との情報交換を今年度も行っています。子供の成長を多角的に捉え、共有を図っています。これからも常に学習し専門性の向上に努めてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	85%	15%			<ul style="list-style-type: none"> ・スロープになっているところもあるが、荷物置き場など狭くて車いすなどは通れないと思う。 	施設が古くご迷惑をお掛けしています。バリアフリー化にはなっていないところもありますが、安心安全を心がけていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	85%	15%			<ul style="list-style-type: none"> ・清潔だと思う。 ・トイレがきれいになるとうれしいです。 ・清潔感があり、しっかり清掃されていると思います。大きな遊具でのアプローチもできてありがたいです。 	最新の設備になっていない所もあります。安心、安全と清潔面に注意しながらおこなっていきます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	90%			10%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見をとり入れながら作成していると思う。 ・丁寧に作成していただいていると思います。 	個別支援計画書ではニーズや要望をしっかり受け止め、反映されたものが大切と考えています。今後も保護者の方としっかりコミュニケーションを取り、個別支援計画を作成します。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	70%	15%		15%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインが分からない。 ・丁寧に作成していただいていると思います。 	利用される児童の課題をしっかりと受け止め、具体的な支援計画に反映していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていると思う。 ・丁寧に支援して下さっていると思います。 	常に児童支援計画に基づいた支援を目指します。
	⑧	活動プログラムが固定されないよう工夫されているか	85%	15%			<ul style="list-style-type: none"> ・1か月を通じて同じ活動内容の組み合わせがないようにしていると思う。 ・丁寧に支援して下さっていると感じます。 	活動プログラムやバリエーションを増やし、年齢や発達にそったプログラムを行うよう努めていきます。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10%	20%	40%	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園と併用していないと障害のない子と活動する機会はないと思う。 ・コロナ禍だからしかたない。 ・幼稚園の通っているので、この部分は求めないです。 ・障がいのないお子さんとの活動はあまり希望していません。 	職員レベルでは併用施設との情報共有に努めてまいりました。保護者の要望等に照らしてどの様な方法が良いか検討していきたいと思います。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	86%	7%		7%	<ul style="list-style-type: none"> ・入園児には説明があった。毎年する必要がある物なのか分からないです。 	何事にも丁寧な対応、説明を行うことに努めていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・説明がありました。 	ガイドラインに沿った支援計画を実行していきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	65%	7%		28%	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩ママとの交流会はいろいろな話が聞けて良かった。 ・卒園した園児の保護者の交流会、とても良いなと思いました。 ・保護者向けの勉強会、本当に有難いです。 	様々な要望や相談を受ける場をこれからも大切にしていきたいと思います。また保護者研修を通じて学び、交流できる機会を増やしていきたいと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	92%	8%			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を先生が良く理解してくれていると思う。 ・今日の活動を具体的に話してくれるのがうれしいです。 ・お便り帳では丁寧にお伝えいただいておりますし、個別学習の様子も大変詳しくお伝えいただき、安心しています。 	日頃から保護者とのコミュニケーションを大切にしていきます。連絡ノートも丁寧に分かりやすいものになるように努めてまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	8%			<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことや、心配な事などを相談や問い合わせ先などの情報を教えてくれていると思う。 ・卒園した園児の保護者の交流会とても良いなと思いました。 ・相談にのってもらい、心持の部分も助言を頂いています。 	保護者との面談はなるべく多くの機会を持ち、回数を増やしていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	50%	10%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士(こどもがいない状態で)ゆっくり会話などをする機会があったらよいと思う。 ・保護者同士とはいえ週に何回か会う人もいれば、たまに会う方もいるので職員さんも難しいと思うし、保護者も分からないところ。 ・交流会を開いていただき、先輩としてのお話はとても貴重でした。 ・保護者同士で交流できる機会を設けて頂き、嬉しく思っています。 	保護者同士もっと多くの交流が持てると良いと思います。年1回の保護者交流会だけではなく、日常的に雑談や交流が持てる環境作りに努めてまいります。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・相談や申し入れについて対応できていると思う。 ・丁寧に対応していただいています。 ・相談した際は、毎回時間をかけて対応して下さり感謝しています。 	誰でもが相談や申し入れを気軽にできるように努めます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が出来ていると思う。 ・丁寧に対応していただいています。 	相談、連絡帳、一斉メール、園だよりなど使いスムーズに意思疎通や情報伝達出来るように努めてまいります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	70%	16%	7%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報が少なく感じています。 ・毎月のおたより楽しみにしています。 ・毎月丁寧な園だよりを拝読しています。 	一斉メールの活用や園だよりなど、また来年度早々には従来のホームページを改めて充実を図ってまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	70%	15%		15%	<ul style="list-style-type: none"> ・どの様に注意しているのかわからない。 ・保護者の方から、先生よりうちの職業を聞いたと話しをうけ驚きました。 ・掲載する写真の承認も丁寧にして頂いています。 	個人情報に対しては、改めて秘密義務の原則を理解し、間違いのないように対応していきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	65%	7%		28%	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアをちゃんと施錠しその都度しているので良いと思います。 	マニュアル等の周知、説明も順次行っていきたいと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	65%	7%		28%	<ul style="list-style-type: none"> ・単独で預けているのでわからない。 	毎月1回の避難訓練など、児童発達支援事業に課せられた以上の訓練を行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみに通っています。 ・いつも通園を楽しみにしています。子どもの良いところを見つけ、伸びるような声かけをして下さり感謝です。 ・どこに行くのが一番楽しいかと聞くとたけのこがNO1です。 ・とても楽しみにしています。先生方が温かく安心して通っています。 ・とても楽しみにしています。迎えに行くといつも楽しそうに先生方と過ごしているのが伝わってきます。 	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・作業や言語療法など専門の支援が受けられてよい。 ・さまざまな支援をしてもらえ、嬉しい限りです。作業療法が特にお願いして良かったなと思っています。 ・大変満足です。個別は指導もしてくれて、専門分野の支援もあって、素晴らしい施設だと思います。 ・大変満足しています。様々な療育や支援のおかげで息子が成長し、出来ることが沢山増えました。 	保護者の要望等取り入れながらより良い事業を行っていきよう努力いたします。

事業所職員向け 令和5年度 児童発達支援自己評価表(公表)

公表:令和6年3月

事業所名 こども発達支援センター たけのこ園

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数、療育内容等によって、スペースを区切ったり、オープンにして密にならないように工夫している。 ・スペースには限りがあるため、換気には十分に気を付けている。 ・保護者及び職員トイレが男女兼用なので改善が必要。 ・部屋数がもう少しあると良い。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援が必要な園児が多く、活動によっては職員が足りないと思うときがある。 ・登園児数や療育内容によって職員配置を調整している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・一部、建物に段差などがあり、玄関や外に出る時には注意している。 ・写真や絵カードを利用して建物を分かりやすいように工夫している。 ・玄関の段差やパーテーションドアの開け閉めなど、怪我の原因となる場所もあるので十分に注意を払っている。 ・トイレが使えずらかったり、療育のできる部屋が少ない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数や療育内容によってパーテーションを区切ったり広くしている。 ・トイレの数が少ないので、療育の時の流れには工夫しながら行っている。 ・建物は古いが清潔が保てるようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課や福祉QCを実施し、PDCサイクルに沿って業務改善を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見や話にはよく耳を傾け、毎年アンケート結果にもとづいて改善に努めている。 ・様々なニーズに対応し改善していけるよう掛けている。 ・アンケートを実施、公表し、アンケートで出た意見について職員間で考え改善策を考えている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の意見や話にはよく耳を傾けていると思う。 ・たかはら学園のHPに公開すると同時に保護者に事業所評価の結果を配布している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・法人の内部研修、虐待防止研修など順に全員が参加している。 ・県や事業協会のオンライン研修(外部研修)等に参加している。
適切な 支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの聞き取りや相談支援員からの聞き取りを行い、子どものニーズを確認しながら行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・入園児には日常生活や児童の行動状況を把握するアセスメントツールを使用している。また遠城寺式発達検査やNCプログラムを用いている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との話し合いの時間を設けて適切な選択が出来るようにしている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的かつ必要に応じ、適宜モニタリングなどを行って支援計画に沿った支援を行っている。 ・専門講師からもアドバイスを受けて計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・週担当のリーダーが月案(プログラム)を作成し、相談をしながらで作成している。

又 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが喜んで取り組める課題を考えながら行っている。 ・メンバーに合わせて相応しい活動に参加できるようにしている。 ・固定化しないように常に新しいプログラムをとり入れるよう努めていきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別と集団に分けて計画を作成し、児童に応じて個別支援計画に組み込んでいる。 ・発達段階にそった個別指導を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングを実施し1日の流れを確認している。支援内容を常に意識してミーティングを行っていききたい。 ・利用児対応で参加できない場合は、できる限り自ら確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要事項がある際は、その都度話している。またミーティングノートで共有を行うようにしている。気づいた点をその都度共有している。 ・支援後の打ち合わせが、清掃や消毒などで抜けることが多い。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童記録やミーティングノート、日誌などを付けて支援に繋げている。 ・記録後、全職員に伝えたい情報は、必ず口頭で告知を心がけている。 ・日誌に打つことで全職員が共有できるようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議を行い、必要に応じて適宜、かつ最長でも半年を超えないような期間でモニタリングを行っている。
関 連 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・担当者や児童発達管理責任者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園、医療機関と情報交換を行っている。 ・利用者のニーズや保健師から依頼があった時は、連携した支援を行っているが、定期的には行ってない。情報共有は重要であるので今後も継続していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児は現在、在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児は現在、在籍していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園、医療機関と情報交換を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・希望者に対しては実施している。 ・保護者から依頼があった時は、終結のモニタリングに合わせて、積極的に情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・矢板市の「こども部会」に委員として参加し、他施設の職員などと積極的に情報を共有している。 ・児発センターなどに伺い、就学準備に関する支援などの助言を受けた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは、コロナ禍で実施できなかったが、保育園と幼稚園と併用している園児が増えたことも要因の一つである。 ・以前は行っていたが、コロナ禍で難しい状況である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・矢板市の「子ども部会」等に参加し、地域の児童福祉全般に関して意見を交換している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員や専門指導講師がモニタリングの際や個別的関わりを通じて、共通理解を深めている。日常の保護者との交流の中で積極的にコミュニケーションをとって共通理解を深めていきたい。 ・個別指導時のカンファレンスで共通理解できるよう心がけている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・親子通園をしていること自体が家族支援にも繋がるものと思う。今年度は卒園児の保護者との交流会を持つことができた。また、土曜日に保護者交流会の時間を設けている。このようなプログラムを発展して様々な支援プログラムを考えていきたい。 ・個別指導時のカンファレンスで具体的な家族支援を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・特に、個別学習後の時間帯に相談を受ける機会が多い。保護者が話しやすい雰囲気を感じられよう、職員の対応にも気を配っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者会などは組織されていないが、今年度は、卒園児保護者との交流会ができた。また、土曜日に保護者交流の時間を設け、保護者同士のフリートークを行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・日頃から相談しやすい、話しやすい雰囲気づくりを大切に、相談や申し入れについて、職員の皆さんに報連相を心がけて対応している。 ・迅速に対応するようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月1回の園だより、年1回の卒業文集を発行、掲載している。また、連絡一斉メールを使って連絡体制の充実を図っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報については、その取扱いに日頃から注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・どのようなコミュニケーションのあり方が良いか、考えながら行っている。児童には意思疎通のための絵カードやマカトン法などのコミュニケーションツールを使ったり、保護者の方にもそれぞれに合ったコミュニケーションに配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・毎年、お隣の片岡ディサービスをご利用されている皆さんとの間で、敬老の日やクリスマスに互いに行き来したり、プレゼント交換などをしてきたが、コロナ禍以降、プレゼント交換だけに留まっている。
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・昨年度は危機管理マニュアルを配布したが、今年度は行っていないので順次、配布し周知していきたい。避難訓練は毎月行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月避難訓練を実施している。 ・今年度は総合避難訓練も実施できた。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・新規入園の際に児童の記録を確認したり、聞き取りを行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・植物アレルギーのある場合、保護者より対応をきちんと頂いている。 ・医師からの指示書はもらっていないが、アレルギーの確認は行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・日常生活の中でヒヤリハットの事例を体験した場合、報告書を作成して情報を共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・毎年、法人内研修会に参加している。また、セルフチェックシートを用いて自らの行動を顧みて、業務に生かしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・今まで親子通園の時は、身体拘束の事例はなかった。身体拘束については4年度から法人で取り組んでおり、適正な対応の在り方を研修している。今後、保護者にも周知し情報を提供していきます。